

2025 年度

事業報告

(2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日まで)

公益社団法人競走馬育成協会

2025 年度 事業報告

公益社団法人競走馬育成協会

概況

近年、世界規模での異常気象とそれに起因する自然災害の多発、各地で永続的に続く紛争などが、我が国における為替リスク、不況や物価高騰の形で市民生活に影響を及ぼしている。このような状況下にあっても日本の競馬は着実に開催を実施し、順調に売り上げを伸ばしているところ。

競走馬育成協会は、コロナ禍を脱して以降、社会や経済の状況に配慮しつつ、コロナ前とほぼ同様もしくはそれ以上の体制で育成調教技術の向上を目指し、競馬と関連する地域社会の発展に寄与すべく諸施策にあたったので、以下に報告する。

1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

1) 育成技術講習会の開催（公益事業）

JRA および公益財団法人軽種馬育成調教センター（BTC）との連携・共催による講習会を、会員のみならず一般からの参加も得て全 5 地区で開催した。

また、JRA 日高育成牧場主催の「強い馬づくりのための生産育成技術講座 2025」を北海道地区会員に、JRA が主催する馬のハンドリング講習会を関西地区会員に案内した。

2) 競走馬育成調教技術表彰事業（収益事業等）

競走馬の育成調教の技術向上、育成調教者の経営基盤強化および意欲増進を図るため、成績優秀な競走馬の育成者を表彰した。ダービー開催までの 1 月 1 日～6 月 1 日を上半期、6 月 2 日～12 月 31 日を下半期として 2 回に分け、各支部あてに表彰状の送付と褒賞金の振込を行った。

対象 570 競走のうち、50 会員の育成馬が優勝した 376 競走について表彰を実施した。該当率は 66.0%、とくに 2 歳新馬競走で 84.2%、3 歳新馬競走では 80.0%と引き続き高い水準にあり、会員が業務に精励した成果が表れた。育成協会会長表彰の対象である 2 歳ステークス競走 4 競走（札幌・函館・新潟・デイリー杯）では、2 競走で会員の育成馬が優勝した。なお、2026 年度からは全ての 2 歳重賞に対する表彰を総会にて執り行うこととした。

	表彰対象 競走数	前年比	会員優勝馬 表彰該当数	前年比	該当率	前年比
3歳新馬競走	45	±0	36	-4	80.0%	-8.9P
2歳新馬競走	259	+2	218	+19	84.2%	+6.8P
2歳重賞 ・リステッド競走	20	±0	13	-3	65.0%	-15.0P
3歳以上重賞 ・リステッド競走	177	±0	78	+8	44.1%	+4.6P
障害重賞競走	10	±0	1	±0	10.0%	±0P
上記以外の 平地オープン競走 (2・3歳限定を除く)	59	+3	30	+5	50.8%	+6.2P
計	570	+5	376	+25	66.0%	+3.9P

2. 軽種馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

競走馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善に資するため、育成牧場における調教、施設、経営、人材の実態を調査した。なお、過去の調査結果は協会ホームページに掲載し、公表している。

3. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

競走馬の生産育成分野で働く人材の確保を目的とし、当協会をはじめとした5団体で構成する牧場就業促進事務局（BOKUJOB事務局）が事業を行った。

2025年は、過去の実施状況を勘案して、開催時期を変更して「BOKUJOBメインフェア」を実施し、「ウェブサイト運営」、「BOKUJOB関西フェア」、「サポートデスク」、「牧場で働こう見学会」、「牧場で働こう体験会」および「研修コース合同見学会」などを計画のとおり実施した。

① 牧場就業促進ウェブサイトの運営と保守管理

BOKUJOBウェブサイト（BOKUJOB.com）において、メインフェアをはじめとする牧場就業相談活動の開催情報や、牧場就業を促進する参加型イベントの募集情報等、計43件の情報発信を行った。

なお、ウェブサイト解析システムの変更により過年度との比較はできないが、当該年度の新規訪問者数は334,571名、延べ訪問者数は431,183名であった。

② メインフェア

懸案であった会場内の混雑を解消し、「静かでゆとりある相談環境」の確保を目的に、6月の競馬開催日から9月のパークウインズ(場外発売)日に時期を変更して実施した。生産・育成牧場の採用担当者や研修機関の関係者と直接相談ができる数少ない機会であることから、これまでと同様に多数の相談者が熱心に就業相談や進路相談を行う姿が多数見受けられ、参加者の意欲の高さが窺われた。

- ・実施日 2025年9月20日(土)、21日(日)
- ・実施場所 JRA 東京競馬場フジビュースタンド1階イーストホール
- ・参加牧場数 25 牧場
- ・参加団体数 6 団体(研修機関等)

年	相談者数					保護者 学校関係者	見学者	来場者 合計
	小学生 中学生	高校生 高専生	大学生等 専門学校生	社会人 その他など	計			
2025年	6	44	35	70	155	65	15	235
2024年	19	54	85	96	254	128	104	486
2023年	12	64	58	98	232	121	100	453
2019年	15	50	49	63	177	86	6	269
2018年	21	38	48	35	142	30	82	254
2017年	—	34	69		103	44	48	195
2016年	—	50	73		123	61	70	254
2015年秋	—	36	50		86	34	200	320

③ 関西フェア

再開した昨年と同様、秋季に実施したが、関西地区における生産・育成牧場や研修機関の関係者との直接相談が可能な貴重な機会を活用しようとする相談者の高い意欲が感じられ、相談者数、相談件数とも昨年を上回る結果となった。

- ・実施日 2025年11月8日(土)、9日(日)
- ・実施場所 JRA 京都競馬場ステーションサイド3階
- ・参加牧場数 18 牧場
- ・参加団体数 4 団体(研修機関等)

年	相談者数					保護者 学校関係者	見学者	来場者 合計
	小学生 中学生	高校生 高専生	大学生等 専門学校生	社会人 その他など	計			
2025年	9	36	28	47	120	55	—	175

2024年	8	25	22	52	107	43	—	150
2019年	25	34	28	77	164	74	6	244
2018年	33	32	22	29	116	70	71	254
2017年	—	38	40		78	45	71	194
2016年	—	29	40		69	48	57	174
2015年秋	—	32	37		69	45	118	232

④ サポートデスク

競馬場等の JRA 施設、インターハイ馬術競技大会会場（静岡県）、ノーザンホースパーク（北海道）や三木ホースランドパーク（兵庫県）の馬術競技大会会場に加え、日本農業クラブ全国大会（山梨県）にサポートデスクを設置し、BOKUJOB 活動を広報するとともに、牧場就業や研修・進路に関する相談を受け付けた。

なお、本年は春季の相談活動の強化を図るため、中山、福島および東京競馬場で新たにサポートデスクを設置して、相談活動を実施した。

実施場所	開催日	相談者数／来場者数			
		2025年	2024年	2023年	2022年
JRA 中山競馬場	4月12～13日	18／20	—		
JRA 福島競馬場	4月19～20日	22／29	—		
JRA 東京競馬場	5月17～18日	60／78	—		
JRA 小倉競馬場	7月12～13日	32／40	36／55	29／38	36／43
御殿場市馬術・スポーツセンター (インターハイ馬術競技大会)	7月24日	9／9	31／31	12／15	39／42
ノーザンホースパーク (全日本高等学校馬術選手権大会)	8月5～7日	84／95	76／113	57／81	90／135
JRA 中京競馬場	8月30～31日	25／41	21／24	41／68	30／44
JRA 宮崎育成牧場	9月23日	15／26	14／38	20／200	—
日本学校農業クラブ全国大会	10月22～23日	広報のみ	広報のみ	広報のみ	63／175
三木ホースランドパーク (全日本学生馬術大会)	10月29日 ～11月2日	9／12	24／50	34／52	—
JRA 栗東トレーニング・センター	11月3日	3／10	29／36	—	—

イベントとして広報展開を実施するとともに、牧場・団体が集中的に参加し、Zoomを使用して実施した。

- ・実施日・場所：6月7日（土）・8日（日） 競走馬育成協会（新橋）
- ・方式：特設マッチングサイトによる個別面談（1面談約30分）
- ・相談者数：58名（参加登録者数79名）
- ・相談件数：延216面談
- ・参加牧場数：17牧場
- ・参加団体数：5団体（BOKUJOB事務局、研修機関等）

⑨ BOKUJOB YouTube チャンネル等広報活動

i) BOKUJOB YouTube チャンネル等

牧場就業希望者が牧場就業に関する検討を深めるための資料として、「君を競走馬に～牧場で働く人々の夢～2」等の映像コンテンツを制作し、配信した。

ii) 「BOKUJOB X」等のSNS

BOKUJOBの公式SNS（X、Instagram、Facebook）を通じ、フェアの実施、参加牧場と団体の紹介、各種イベントの募集等を告知するなど、積極的な情報発信に努めた。

iii) 地方競馬場での協賛競走

BOKUJOB活動を広く周知し、認知度の向上を図るため、佐賀競馬場、岩手競馬場および門別競馬場で協賛競走を実施するとともに、BOKUJOBプロモーションビデオを放映した。

2) 担い手育成事業

① 修学奨励金交付事業

BTC 育成調教技術者研修の2025年度入講生5名、JBBA 生産育成技術者研修の2025年度入講生2名の計7名に対し、審査のうえ修学奨励金を交付した。

また、BTC 育成調教技術者養成研修の2026年度入講予定者1名、公益社団法人日本装蹄協会の2026年度装蹄師認定講習会入講予定者1名の計2名に対し、審査のうえ、修学奨励金交付対象者として決定した。

② 生産育成技術者海外派遣研修事業

円安や物価高騰に伴い、海外研修に係る諸経費の補助率を7/10から9/10に改定するなど、研修参加者の負担軽減を図った。

長期研修のうち、生産育成技術者養成機関の研修修了生を対象とした研修は、BTCからの推薦者1名を面接による選抜によりThe British Racing School（BRS）に約3か月（6月16日～9月7日）派遣した。

短期研修は、面接等を経て会員牧場の従業員10名を選抜し、9日間（9月24日～10

月 2 日) の日程で競走馬調教関係施設の視察等を目的にイギリス・アイルランドに派遣した。

4. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（収益事業等）

1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果が反映されやすい 2 歳トレーニングセールを対象に、地域団体による後援や実務援助を実施した。

2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設の整備等を目的に会員が受けた融資の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、2025 年度は新規案件 1 件を承認、継続案件 19 件について利子補給を実施した。

② 競馬関連機材等有効活用事業

JRA 等で使用しなくなった競馬関連の機器・資材などを会員に斡旋し、有効活用した。2025 年度は 10 月に抽選会を実施し、トラック 1 台、自動車 5 台、馬場柵 2 セット、ハロー類 1 台、ローラー類 1 台の合計 10 件について募集を行い、全件の引き取りが完了した。

③ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、2025 年度は会員からの 2 件新規案件の申請があり特認審査を行った。

3) 飼料等高騰緊急対策事業（収益事業等）

馬の繋養に必要な飼料、敷料、資材の価格高騰による負担を軽減することを目的に、2025 年度についても申請のあった正会員 189 件に対し、審査を経て 1 会員あたり給付金 36 万円を交付した。

5. 軽種馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

協会誌「いくせい」の 63 号（12 月 1 日付）を発行し、会員に競走馬の飼養管理や育成技術の向上に役立つ情報を提供した。また、協会ホームページ等を通じ、育成調教に関する情報を発信した。

6. 軽種馬の育成調教に係わる国際交流（公益事業）

軽種馬海外流通促進連絡協議会に参画し、関係者との情報交換を行った。

7. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

1) 定時総会

2月14日 14:00～ 新橋分館 4階会議室

議案：2024年度事業報告及び財務諸表について
2025年度会費等の額及び徴収の方法について
理事及び監事の選任について
役員の報酬等の支給に関する規程の改正について

2) 理事会

① 第1回理事会（定例）

1月24日 14:00～ 新橋分館 4階会議室

議案：2024年度事業報告及び財務諸表について
2025年度定時総会の開催について（日程、場所、提出議案）
2025年会費等の額及び徴収方法について
理事及び監事の選任について
役員の報酬等の支給に関する規程の改正について
2025年度定時総会における議決権行使書及び委任状の取り扱いについて
2025年業務委託費の配分方法について
報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

② 第2回理事会（定例）

2月14日 13:00～ 新橋分館 4階会議室

議案：2025年度定時総会における「委任状」の取り扱いについて
職員就業規則の改定について

③ 第3回理事会（臨時）

2月14日 新橋分館 4階会議室（総会終了後）

議案：会長理事、副会長理事及び常務理事の選定について

④ 第4回理事会（臨時）

6月6日 13:30～ 新橋分館 4階会議室

議案：新規入会の承認について
職員就業規則の改正について

⑤ 第5回理事会（定例）

12月5日 14:00～ ニュー新橋ビル 8階会議室

議案：2026年度事業計画について
2026年度収支予算書、資金調達及び設備投資見込みについて
新規入会の承認について
育成技術表彰規程の改正について

3) 育成等に関する懇談会

9月26日 10:00～ JRA本部 4階 403会議室

懇談内容：JRAからの報告事項

- ・ JRA 育成馬売却結果について
 - ・ セリ市場の動向について
 - ・ その他（軽種馬牧場 OJT 支援事業について）
- ： 競走馬育成協会からの報告事項
- ・ 実施中の事業について
 - ・ 要望と提案事項
 - ・ 育成牧場における人材確保について（BOKUJOB 活動 2025 状況報告）

4) 協会の組織

① 会員数の動向

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
2024年12月31日	80	11	49	33	18	191	8
増加	5	0	0	2	1	8	0
減少	0	0	0	0	1	1	0
2025年12月31日	85	11	49	35	18	198	8

② 役員の方動向

会長理事	大平 俊明	非常勤	
副会長理事	和田 信也	常勤	(常務理事兼務)
副会長理事	中内田克二	非常勤	
理事	飯田 正剛	非常勤	
理事	荻野 豊	非常勤	
理事	岡田 紘和	非常勤	
理事	小鹿 俊秀	非常勤	
理事	沖崎誠一郎	非常勤	
理事	柏木 務	非常勤	
理事	織田 信美	非常勤	
監事	五島 崇	非常勤	
監事	岩崎 幸治	非常勤	

※ 宮島 成郎理事は任期満了により退任

② 職員等の方動向

2025年3月1日	転出	転入
上席調査役	成田 正一	田邊 草平
業務部長	小野 圭一	神谷 高弘